

# 令和4年度 第4回境港市廃棄物減量等推進審議会 概要

□ 日 時： 令和5年3月2日(木) 午後3時~午後4時30分

□ 場 所： 境港商工会議所 大会議室

□ 出席者(敬称略)：

<審議会委員> ※◎…会長 ○…副会長

◎ 山本貴之 遠藤恵子 木村雄二 古徳 寧 赤井栄作

庄司 亨 伊達勇介 有木恵子 渡邊 昇

※欠席委員： 大西勝代 ○岡田礼子 松本直樹

<事務局>

渡辺 文 (市民生活部長)

足立晴夫(環境衛生課長) 都田祐道(同課清掃センター管理係長) 岡仲一徳(同課主任)

<株式会社東和テクノロジー>

清水文雄(環境エンジニアリング事業部次長) 中村由幸(同事業部リーダー)

□ 傍聴者： なし

□ 内 容

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) アンケート調査結果の説明

(2) パブリックコメント結果の説明、及び「境港市一般廃棄物処理基本計画(案)」について、事務局が修正案を説明

(3) 意見交換(概要)

(伊達委員) アンケート調査結果、パブリックコメントの結果の集計報告のタイミングが遅すぎる。早い段階で集計報告を示し、それぞれの意見を反映させるべきではないか。資料配布について、当日配布では厳しい。事前の配布とするべきである。

(事務局) 啓発の不足や生ごみ分別の促進に向けた意見を計画に反映させている。資料配布の遅れについては、お詫びする。

(渡邊委員) パブリックコメントに意見提出された数が9人しかいなかったことが課題である。その程度の関心しかないということかと思う。目標ありきの計画なのか、どうしたいかが大事で、二酸化炭素の削減が必要だと考えているが、危機感がないように見受けられる。

(事務局) 他の計画に比べて、9人は良い方だと思う。なかなか意見が集まらないのが実情である。

(遠藤委員) 公民館で募集されているのは拝見していたが、意見が出ているようには見られなかった。

(赤井委員) コンポストについて予算化されるとのことだが、重点的取り組みはどのようなものか。また、事業者への指導とは、どのようなことを実施されるのか。

(事務局) ダンボールコンポストを視野に入れて、調査研究や啓発に努めていきたい。また、排出量の多い事業者に対しては、現状を伺うところから始めていきたい。

(古徳委員) 啓発について、自治連合会正副会長会に出向き、広報、周知を進める場をもつとよい。

- (渡邊委員) パブリックコメントの9人が良いほうだということであれば、実施しないほうが良い。経費の無駄である。実施しなければならない規程でもあるのか。
- (事務局) パブリックコメントは、「まちづくり条例」の規程に基づいて実施している。
- (山本会長) アンケートやパブリックコメントで頂戴した意見をこれからの取り組みに反映してもらいたい。何をすればごみが減らせるのか、わからない人が多いように思う。
- (木村委員) 市民としてどのようなことができるのか、わかりやすく、かつ具体的な啓発が必要。アンケートの結果は、今後の運用に活用されていくものだと思う。
- (有木委員) プラスチックごみ、食品ロス削減について、私が参加している協議会でも伝えていきたい。
- (伊達委員) 紙おむつの資源化は難しいかも。古紙の資源化は実現の可能性が高い。
- (事務局) 先月、市長が視察した京都市の施設では、啓発が充実していたと聞いている。大学生と一緒に組成調査を実施しているとのことで、我々も啓発を工夫して取り組んでいきたい。
- (山本会長) 計画(案)について、この内容で承認を頂きたいと思うが、いかがか。
- (全委員) 異議なし。
- (山本会長) 3月下旬に、市長へ「答申」を行う予定。
- (事務局) 来年度の廃棄物減量等推進審議会について、本計画の進捗状況を報告する機会を設けたいと考えているので、引き続きご協力をお願いしたい。

#### 4 部長あいさつ

計画は目標ありき、取り組みありきになってしまうところもあるが、アンケートの結果を踏まえて実行に移していきたいと考えている。啓発活動も大事であり、自治会の方々等とも協力を図りながら進めていきたい。コンポストを活用した生ごみの削減にも動いており、今後、周知を図っていく。来年度は、進捗がどうだったのか報告させていただくので、また、集まって審議いただきたいと考えている。

以上